

あいちの印刷

7

2007.7
No.428



名城公園にて

も
く
じ

巻頭言「供給はそれ自身の需要を創造する」 / 副理事長 木野瀬吉孝	11
中部地区印刷協議会 平成19年度上期会議（岐阜県会議）	12
身近な催し物のお知らせ	15
愛知県印刷工業組合青年会共催セミナー 「メディアユニバーサルデザインセミナー」	16
2007 < 第1回 > メディアユニバーサル デザインコンペティション	17
O/Oサロン	18
雇用保険法が変わります	19
「マーケティングデータブック2007」発行	19
ユニバーサル技能五輪国際大会 「IGAS2007」開幕迫る / 事務局だより	20

「供給はそれ自身の需要を創造する」

副理事長 木野瀬 吉孝

標題の「供給は...」は、セイの法則と呼ばれている有名な経済法則ですが、そのことを先日地元で開催したシンポジウムの折に、参議院議員の大塚耕平氏から教えていただきました。大塚氏は国会議員であると同時に、きわめて優秀な経済学者であり、私は彼から今まで多くのことを学ばせてもらいました。今回の巻頭言は、彼から教えられたこの法則を印刷業界に当てはめ、更には若干の私見を交えながら書いてみます。

この法則の載っているセイの著書は、今から200年以上も前に発刊されていて(1803年刊/政治経済学概論)、いまだに販路法則として活用されているというから驚きです。法則を簡単に言えば「供給が増え供給超過になっても、必ず価格が下がるので、結果として需要が増え需要と供給が一致する 需要を増やすには供給を増やせばよい」という理論です。

但し、この法則は何でもいいから物を作れば売れると単純なことを言っているのではなく、供給側は需要に合致した商品やサービスを提供するというのが根本にあるのも忘れてはいけません。では、この理論を印刷業界に当てはめて考えるとどうなるのか。

私たち印刷業界は、今日まで供給過剰を繰り返

返し、価格を下げまくってきました。セイの法則から言えば、価格を下げた結果、需要が増えバランスの取れた供給体制が実現するということとなりますが、現実には完全に需給のバランスが崩れた状態に陥っています。

その原因は、私たちが自らの提案によって需要を生み出す努力を怠ってきたことにあると思います。ただ需要のあるところに群がって、漫然と供給を繰り返していただいただけという現実がそこにはあります。かつての高度成長社会のもとでは、需要が勝手に伸び生産体制さえ整備すれば、市場は印刷物を受け入れてくれました。しかし、現在の市場は大きく様変わりをして、私たちに求められているのは、ただ単に大量に印刷をすることではなく、印刷をベースにした様々なサービスでありアイデアになってきています。それなのに、印刷業界はその要求に応えるどころか、旧態全とした価格のみの競争に明け暮れ、自殺行為を繰り返しています。

今、私たちがしなければならないのは、需要に合致した商品やサービスとは何かを真剣に考え、健全な供給者としての責任を果たすことにあります。私たちが供給するもので「本物の需要」を創造する、そんな業界であり続けたいと思います。

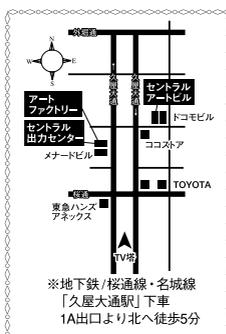


東海地区最大級!!
**画材・額縁
絵画・ギャラリー**

セントラル画材株式会社

名古屋市東区泉1丁目13-25 セントラル・アートビル
【代表】tel 052-951-8998 fax 052-951-8997

URL: <http://www.central-gazai.co.jp>



※地下鉄/桜通線・名城線
「久屋大通駅」下車
1A出口より北へ徒歩5分



必ず貴方の仕事の力になります



CENTRAL GROUP

- (株)セントラルグラフィックセンター/営業部
名古屋市東区泉1丁目13-25 セントラル・アートビル5階
Tel: 052-950-3456 Fax: 052-950-4456
- セントラル 出カセンター
名古屋市中区丸の内3丁目18-12 大興ビル2階
Tel: 052-953-8628 Fax: 052-951-2641
DTP出力・大型カラー出力(ポスター・屋外対応プリント他)

- (株)セントラル画材(株)/企画営業部
名古屋市中区丸の内3丁目18-12 大興ビル3階
Tel: 052-953-8737 Fax: 052-951-8993
- セントラル アートファクトリー
名古屋市中区丸の内3丁目18-12 大興ビル3階
Tel: 052-951-8994 Fax: 052-951-8993
フレーム加工・看板制作等

- セントラル フレームセンター
名古屋市東区泉1丁目13-25 セントラル・アートビル3階
Tel: 052-950-6566 Fax: 052-950-6518
額縁・松崎コレクション・フレーム・額縁販売
- セントラル アートギャラリー
名古屋市東区泉1丁目13-25 セントラル・アートビル4階
Tel: 052-950-6566 Fax: 052-950-6516

中部地区印刷協議会平成19年度上期会議(岐阜県会議)

高山に集結し、業界課題を協議 官公需に関する講話と再生紙の解説も聞く

6月22日(金)午後1時15分より、平成19年度上期の中部地区印刷協議会が高山市の高山グリーンホテルで開かれました。今回は来賓に、全印工連の武石三平専務理事と飯尾寛官公需対策特別委員会副委員長、当地区協議会の大鹿洪司顧問をお招きし、総勢61名が出席して行われました。

愛知県からは、高井昭弘・木野瀬吉孝・細井俊男の3副理事長、猪飼重太郎・岡田邦義・鳥原久資理事、三浦康彦環境副委員長、村瀬誠専務理事が出席しました。

協議会は、田中良幸岐阜県工組副理事長の開催県挨拶から始まり、林初彦中部地区協会長の岐阜県工組飛騨支部へのお礼と意義ある会議進行の協力要請、そして前半の全体会議へと続きました。

前半の全体会議では、平成18年度決算、平成19年度予算を承認。全印工連からの報告と連絡事項の説明を武石専務理事が行い、話題提供として、全印工連の飯尾副委員長の官公需に関する講話、「再生紙再編」と題する近藤政彦氏(日本製紙㈱洋紙営業本部印刷卸営業課長)の解説を聴講しました。

分科会は5委員会と理事長会で活動報告、討議が行われ、全体発表では、活発な意見が交わされ、充実した協議会となりました。

開催県代表挨拶：田中副理事長

本日は、この遠隔の地、まさに岐阜県でも最も有名な高山市へようこそお出でいただきました。心より、感謝申し上げます。私も久しぶりに高山へまいりましたが、高山祭は全国的に非常に有名になり、岐阜県でもこの地が脚光を浴びており、皆様方も本来にきたい地域であろうということで、今日のこの会場の設営になりました。これより、中部地区印刷協議会平成19年度上期会議を開催させていただきます。真剣に皆様方が討議されることを心よりお願いし、開会の挨拶とさせていただきます。

会長挨拶：林会長

今日は岐阜県工組が担当して開催するわけですが、飛騨支部の平義孝常務理事に大変なお骨折りをいただきました。心よりお礼申し上げます。

業界は全体的に言えば、供給過剰の状態が続いています。そういう状況の中で、相変わらず非常に厳しい受注競争が展開されています。我々を取り囲む



開催県挨拶をする田中副理事長



主催者代表挨拶をする林会長

不安定要素は、原油価格高騰により、諸資材関係の値上がりが続いていることです。これは用紙を中心に、まだまだ進んでいくものと予測されています。そういうこともあり、厳しさを本当に身にしみて感じます。いま夏場の仕事の落ち込みの時期に入っています。そのような中、業界が少しでも協調し、いろいろなことを討議しながら、手を取り合って対応していきませんか、進歩・発展はあり得ないと思えます。今日の中部地区印刷協議会の平成19年度上期会議がぜひとも有意義なものとなるよう、皆様方のお力添えをお願い申し上げます。

全体会議(前半)

平成18年度決算、平成19年度収支予算

村瀬事務局長により、中部中部地区印刷協議会の平成18年度決算の内訳と1,902,507円の決算額、及び平成19年度収支算定額としての2,057,776円の説明があり、承認可否に諮られた結果、出席者全員の拍手によって原案通りに承認されました。

全印工連連絡事項：武石三平専務理事

日本製紙と王子製紙の二大製紙メーカーが今回はすべての品種について、10%以上値上げすると発表しました。この情報が全印工連にもたらされたのは5月に入ってからです。浅野健全印工連会長に、まず話が来ました。引き続いて、日印産連へ「用紙値上げについて、理解を求めたい」と説明にまいりました。昨年、2回の値上げがあり、その時、初めて二大製紙メーカーから印刷業界に値上げの事前に説

明がありました。今回も、あらかじめ発表前に、全印工連及び日印産連へ、製紙メーカーから厳しい状況についての説明がありました。

値上げの理由は原油価格の高騰が大きな理由で、また、古紙の値上がりも要因の大きな一つになっています。印刷業とすれば、今回が3回目の値上げになります。印刷業界としては、用紙値上げは到底容認できることではありません。それが業界の基本的な考え方です。それを見越して、日本製紙も王子製紙も日経新聞に意見広告を掲載しています。その広告の中で、印刷業のことを大変に強く指摘しています。従来はメーカーの事情が中心ですが、今回は印刷業に非常に配慮した意見広告になっています。

印刷業界としては、昨年12月に日印産連が日経新聞に「景気回復のニュースは印刷業界にまだ届いていません」という意見広告を載せました。まだ十分に発注先のご理解もいただかない中で、更に再度の値上げは基本的には反対です。しかし、ガソリン、食品をはじめ、いろいろな製品が値上がりしているので、前回同様、印刷業界も価格転嫁の努力は、行っていく必要があります。いずれにしても、印刷業界は、日印産連を中心に値上げに対する対応を図ることになりますが、一方的な印刷用紙の値上げには、基本的に反対という姿勢に変わりはありません。印刷と製紙は共存共栄であるべきで、両業界発展のための解決策を講じていく必要があります。

紙関連でもう一つ、古紙100%の再生紙の生産中止が日本製紙から発表されました。ほかのいくつかのメーカーも同調し、古紙配合率も低下させると発表しました。印刷業界で大きな問題となるのは、官公需の関係です。官公庁は発注する際、「古紙配合率100%の紙で」と指示されます。日本製紙が古紙100%の紙の生産をストップするとすると、その紙の入手が困難になります。王子製紙は古紙100%の再生紙の生産を引き続き行うとのことですが、当然、

品薄になり、値段も高くなります。古紙利用も従来の「リサイクル」という観点から、「地球温暖化防止」という観点に切り替わりつつあります。必ずしも、古紙配合率が高い紙が環境に優しいわけではないのです。従って、流れは古紙配合率を低下させた紙へと変わりつつあります。

官公需のベースにあるのは、環境省のグリーン調達法です。県に「古紙配合率を下げた紙を」と提案しても、「国の基準が変わらない限り、県独自で古紙配合率を下げたものを使うわけにはいきません」と言われたという例も聞いております。従って、日印産連が環境庁に古紙配合基準の見直しをお願いしています。グリーン調達法は毎年1回、見直しがされます。今回も6月18日から7月17日までの1か月間、パブリックコメントということで意見を募集していますので、古紙配合率の見直しの要望を行う予定です。

古紙100%の再生紙の生産中止により、いろいろな影響が出てまいります。すべての製紙メーカーが一斉に生産中止してくれればわかりやすいのですが、中止する企業と生産を継続するメーカーがあるので、いろいろな問題が発生してきます。官公庁の発注者は、古紙配合率が高い方が環境に優しいという意識が強いので、その切り替えをしていただくために、周知していく必要があります。ところが、日本製紙連合会に「周知は自分たちの仕事ではありません」と断られましたので、全印工連としては環境庁を通じて、この問題に対応していくこととなります。

全印工連の事業の大きな柱の一つとして、「業態変革」の推進があります。本年は、その四年目になります。第1ステージが「業態変革ミニマム」、第2ステージが「原点回帰」、第3ステージが「新創業」とそれぞれキーワードを掲げ、第3ステージまで展開してまいりました。その流れでいくと、本年は第4ステージということで、新しいキーワードが

KONICA MINOLTA

プロフェッショナル新潮流デジタル化によるスキルレス時代の到来

プリンターの生産性と低コスト

【生産性】 A4フルカラーを最大51枚(A4)/分
A4フルカラーが最大51枚/分という大きな生産力で、迅速な検版作業をサポート。またショートラン印刷にも対応できます。

【低コスト】 近似した再現性と多彩な用紙での出力
画像・文字再現に忠実なカラーブルーフが安価に出力できます。そして色校正での出力回数を減らし、一層のコストダウンをはかります。

【実用性】 A4トンボ付を2面付の出力サイズ
印刷における実用面を考慮した、A4トンボ付を2面付で出力できる実用性が、出力時間やペーパーの節約に役立ちます。

ブルーナーの実用性と再現力

【再現性】 高い画像・文字品質を実現
一層広い色域を有するトナーの開発。また重合法トナーの技術により均一粒状を実現し、ハイエンドDDCPIに匹敵する再現品質が得られます。



Pagemaster Pro
ハイクオリティカラーレーザーブルーナー

コニカミノルタ グラフィックイメージング株式会社

本社：〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2 / TEL.03-5297-5602(代)
名古屋支店：〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上名古屋しらかむビル10F / TEL.052-231-6277(代)



報告する武石専務理事



官公需報告をする飯尾副委員長

打ち出されるところですが、本年度はそれをせずに、もう一度おさらいをさせていただきます。カタカナでこれを表現すると「レビュー」だそうです。これまで、毎年、新しいキャッチフレーズを掲げて進めてまいりましたが、今年度はひと休みし、第1ステージから第3ステージまで、各社それぞれ点検に取り組んでいただきたいと思います。

本年の9月26日に東京で「全印工連シンポジウム」を開催致します。ちょうどIGASが21日から27日まで開催されますが、その期間中の26日にシンポジウムを行います。内容については、浅野会長の業態変革レビュー、メインは富士フィルムの古森社長の講演です。なぜ、古森社長なのかですが、昨年、「富士写真フィルム」から「写真」がなくなり、「富士フィルム」となりました。そして、「富士フィルム」と「富士ゼロックス」の二つの事業会社を傘下に置く持株会社「富士フィルムホールディングス」が10月に誕生しました。そこで、古森社長は「第二創業」という形で新しい経営戦略を打ち出されました。古森社長は「いままで培ってきた技術を基に第二の創業」と位置付け、新しい領域の拡大に取り組んでおられます。全印工連がいま展開している業態変革にも相通じるところがあり、この富士フィルムの事例は大いに参考になるということで、今回、古森社長を講師にお招きし、全印工連シンポジウムを開催さ

せていただきます。印刷業も印刷という技術をコアに新しい領域に事業展開したり、印刷という技術を深めていくなど、いろいろな変革への取り組みがあるかと思えます。今回の古森社長の話は大変参考になるものと確信します。

本年、全印工連事業として進めていこうと考えているのは、「メディアユニバーサルデザイン」の普及啓発です。現在、このコンペティションを企画しており、作品を募集しています。この機会に「メディアユニバーサルデザイン」とはどういうものかを理解していただきたいと思います。3年ほど前、東印工組の墨田支部から「ユニバーサルデザイン」はスタートしました。当時は「バリアブル印刷」という表現で、障害をもっている方々に優しい印刷物をつくらうという考え方でスタートしました。そのあと、全国青年印刷人協議会の手に移り、「カラーユニバーサルデザイン」という呼称で研究を進めました。そして、本年度、改めて「メディアユニバーサルデザイン」という名称になり、全印工連も、この事業に積極的に取り組んでいくことになりました。

すでに、この「メディアユニバーサルデザイン」は全国紙の朝日新聞にも記事として取り上げられております。その記事に対する読者の声も投書欄に載せられました。印刷業は色を扱う業界なので、「メディアユニバーサルデザイン」という位置付けで提案していただきたいと思います。特に、官公庁関係への切り口としても、これは大変に役に立つものと考えます。官公庁からは「印刷業界として率先して取り組んでいただけると、ありがたい」という声もいただいております。これに関して、いろいろなセミナーを実施していきます。

全印工連では、今年度、新しく7本のセミナーコースを企画しました。また、継続セミナーとして、9本の講座を用意しておりますので、ぜひ各県工組

で実施の検討をしていただきたいと思います。また、「ウインドウズVista」で文字環境が変わります。印刷会社がこれを承知していても、お客様に理解していただかせないと、文字化け等は解消しません。そのための冊子をモリサワから提供されました。冊子を活用し、ぜひ顧客側の理解を得ていただきたいと思います。

話題提供 / 官公需の現状と今後の課題：飯尾全印工連官公需対策特別委員会副委員長

同副委員長は「この20年間（昭和62年から平成18年までの間、工業統計は平成16年までの18年間）に、全印工連の組合員数が1万1,030社から7,440社まで3,590社、32.5%もなぜ減少したのでしょうか。工業統計でも、事業所数が3万1,213社から2万6,368社へ4,845社、15.5%もどうして減少したのかを真剣に考えなければなりません。官公需での厳しさ（過当競争・ダンピング・電子化への未対応）もその一因になっているのではないのでしょうか」と述べた上で、課題として次の点を挙げました。

低価格入札の防止（業界モラル確立の啓発、請負契約への変更、受発注双方にわかりやすい印刷物仕様書・見積積算書活用の提案、デジタル下での見積積算研修会を開催して営業マンの再教育）

知的財産権の保護（『印刷の契約』と『著作権』）を中心とするセミナーの開催

電子入札への対応（電子入札未運用工組の対応、電子入札既運用工組の対応）

発注者側（県など）との良好な関係を構築するための手段を考えること

話題提供 / 再生紙再編：近藤課長（日本製紙㈱）

同課長は冒頭、「日本製紙は古紙100%の再生紙の生産を中止しますが、古紙の利用率は増やす予定です。つまり、古紙100%から配合を減らすことが古紙利用の後退にはならないということです。大事なのは、時代に応じて何が求められているのかを考え、今後の環境に最も優しいと思われる行動を自らの判断で進んですることだと思います」と述べ、紙の消費は今後も増える可能性が高いので、古紙の資源としての価値はますます高くなると解説。いま最大の環境問題は「地球温暖化」だとし、古紙高配合の方がパーズンパルプ製品よりも二酸化炭素排出量が多いと説明。最後に「今後、古紙は集中配合から分散配合に切り替える必要があります。社会全体でのベストを考えることが企業責任ですので、皆様のご理解をお願いします」との言葉で結びました。

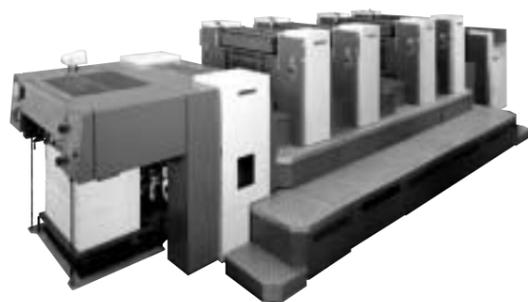
身近な催し物のお知らせ（愛印工組関係）

開催日時	事業・行事、場所、備考
7月13日(金) ~ 14日(土)	事業・行事 見学会 (愛印工組 経営革新委員会) 場所 リービー協広島東工場 (協アスコ(いづれも広島県福山市)) 受付は終了しました。
7月18日(水) 15:30 ~	事業・行事 平成19年度 第1回支部長会 7月期理事会 場所 愛知県印刷会館 3階 会議室
8月6日(月) 19:00 ~ 20:30 (予定)	事業・行事 第3回印刷寺子屋 (愛印工組 経営革新委員会 勉強会) 場所 愛知県印刷会館 3階 会議室 講師: 桜井グラフィックシステムズ㈱ 代表取締役社長 桜井隆太氏 ・テーマ:「業態変革のススメ。」 ・参加費無料 ・定員20名 ・問い合わせ、申込みは事務局まで
8月4日(土) 9月1日(土) 9月29日(土) 13:00 ~ 17:00	事業・行事 GP取得勉強会 (愛印工組 環境委員会) 場所 愛知県印刷会館 3階 会議室 ・3日間のコースです
9月1日(土)	事業・行事 技能検定 学科試験対策学習会 名古屋市中心企業振興会館 4階 ・第1会議室(1級クラス) ・第4会議室(2級クラス) ・技能検定(オフセット印刷作業)学科試験受験者を優先受付いたしますが、一般参加も若干募集いたします
9月3日(月) 19:30頃 ~ 21:00頃 (予定)	事業・行事 第4回印刷寺子屋 (愛印工組 経営革新委員会 勉強会) 場所 愛知県印刷会館 3階 会議室 講師: 大同紙工印刷㈱ 専務取締役 村田宏基氏 ・テーマ: 特殊印刷のいろいろ ・参加費無料 ・定員20名 ・問い合わせ、申込みは事務局まで
9月12日(水) 18:30 ~ 20:30 (予定)	事業・行事 「業態変革推進プラン-全印工連2008 計画-第3ステージ-新創業」説明会 場所 栄カスピル 5階会議室 講師: 水上印刷㈱ 代表取締役 水上光啓氏 (参加費等の詳細は調整中)
(平成20年) 1月11日(金)	事業・行事 平成20年 新春 印刷と関連業界新年互礼会 場所 名古屋東急ホテル (詳細は調整中)
(平成20年) 2月16日(土)	事業・行事 印刷営業講座 *受講資格=一般 印刷の営業実務経験1年以上の者 未定(名古屋市内) ・土曜日=13:00~18:00 ・日曜日=10:00~16:00 (受講料は調整)
(平成20年) 3月8日(土) 10:00 ~ 16:00	事業・行事 印刷営業技能審査認定試験 *受講資格=一般印刷の営業実務 経験2年以上の者 未定(名古屋市内) ・10:00~10:30=注意事項、説明等 ・10:30~11:30=知識試験 ・12:30~16:00=見積技能試験 (受講料 12,600円)

身近な催し物のお知らせ（関連）

開催日時	事業・行事、場所、備考
8月23日(木) 18:00 ~ 20:00	事業・行事 愛知県印刷産業団体連絡会・ビアパーティ 各団体近況報告 LDP研修のご案内 場所 名古屋国際ホテル (TEL:052-961-3111) ・会費:5,000円/1人 (各団体3名様のご参加をお願い致します。)

これが、魅せるマシン。性能ぐんぐん進化。魅力ますます真価。



SHINOHARA 75VIHP

篠原商事株式会社 株式会社 篠原鐵五所

本社 〒420-0813 静岡市長沼596番地
TEL(054)261-2141 FAX(054)262-6279
名古屋営業所 〒454-0985 名古屋市中川区春田3-147
TEL(052)302-5651 FAX(052)302-5654

最新の情報は <http://www.shinohara.com> に掲載しています。

SHINOHARA
1919

全国青年印刷人協議会中部ブロック協議会
愛知県印刷工業組合青年会 共催セミナー
「メディアユニバーサルデザインセミナー」



浦久保康裕議長
全国青年印刷人協議会議長

6月9日午後1時30分より、ウィルあいち3階会議室5において、「メディアユニバーサルデザインセミナー」が開催されました。このセミナーは、全国青年印刷人協議会中部ブロック協議会（大村一史会長）と愛知県印刷工業組合青年会（安田智雄会長）の共催で開かれ、50余名が「誰にでも優しく見やすい印刷物」について学びました。

セミナーに先立ち、挨拶に立った大村会長は「全青協の全国大会が今年の1月に宮崎県で開かれ、そこで『メディアユニバーサルデザイン（MUD）』が提案されました。これが今年の全青協の大きな事業の一つになります。全国の皆様方を対象に、デザインコンペを開催します。全組合員にぜひ知っていただきたいということでセミナーを全国各地で開いています。セミナーの内容も啓蒙の段階から実践の段階に進化していますので、期待していただきたいと思います」と述べました。

セミナーは5部構成で行われ、まず最初に全青協の浦久保康裕議長が「メディアユニバーサルデザイン」について、以下のごとく説明しました。

浦久保議長の発言主旨

皆さんも「色盲」とか「色弱」という言葉を聞かれたことがあると思います。日本人男性の20人に1人、女性は500人に1人がそういう人で、いま日本全国に320万人いると言われていて、これは国が手帳を発行している身体障害者の数と同じ数字なのです。また、欧米では、男性の10人に1人は色覚異常者だと言われており、とにかく非常に多く、そういう方がおられます。私たちが提案する「メディアユニバーサルデザイン」は、色覚に異常のある方に加え、加齢的障害で起きる白内障の方にも優しいものなのです。

公共の施設や交通機関は、点字タイルなどが貼られ、

またスロープが設けられるなど、身体障害者に配慮したつくりになっています。しかし、色覚異常者に対する配慮はされていません。これが2006年2月、色覚異常者に配慮することが閣議決定され、総務省から全国の自治体に通達されました。いま、静岡県は、この取り組みが非常に進んでいます。静岡県は県庁に「ユニバーサルデザイン室」という担当部署があり、専従者もいます。私たち印刷業界は、色に関する仕事をずっと行ってまいりました。情報伝達物を通して、情報発信のお手伝いをしてきました。昔はモノクロの印刷物が多く、その時代は、色覚異常者も一般の人とも関係ありませんでした。しかし、現在のようなカラー化された時代は、これが問題になります。

色覚異常者は、赤と緑が見づらく、その代表的なものとして信号機が挙げられます。いま、都市部の信号機は発光ダイオードのものに代わってきています。その新しい信号機は光っていることがよくわかるので、色覚異常者に配慮したつくりになっています。地下鉄の路線図も色分けがされています。東京メトロの路線図は、今日のセミナーの講師を務める伊藤社長の会社が色覚異常者に配慮して行った仕事です。危険地域の色分け地図も配慮されるべきだと考えます。教育の現場、福祉の分野も同様です。

「メディアユニバーサルデザイン」の分野は、まだまだこれから広がっていく分野です。皆様方が新しい創意工夫を重ねれば、新たな表現が可能となる分野となります。印刷会社はこれまで、納期や単価の競争ばかりしてきました。

した。そうではなく、長年培った色に対する知識、文字に対する知識を全面的に前に出し、そういう部分での競争ができるような形にさせていただきたいと思います。いまや、「ユニバーサルデザイン」というキーワードを外しては、企業の実績は考えられません。この取り組みは、設備投資を必要としません。我々にとっては非常にありがたい話なので、ぜひ皆様方も創意と知恵をこの領域に活かされ、新しい仕事に結びつけてもらえればと思います。「ユニバーサルデザイン」は、クライアントも我々もWin Winになれるキーワードです。その実例とソフトを本日のセミナーで紹介させていただきます。皆様方の仕事の参考にさせていただければ幸いです。

このあと、CAN有限責任事業組合の伊藤裕道代表（正明堂印刷株式会社）が自社制作の「色のユニバーサルデザイン地下鉄マップTokyo CALENDER」を参考に、すべての人に見やすい印刷物の実際のつくり方を解説。次いで、㈱イワタの阿部浩之営業部西日本担当部長が「ユニバーサルデザインフォント」を紹介。続いて、㈱ナナオの丸山啓司営業一部法人販売部長が動画対応の「色覚シミュレーションモニター」を説明。引き続き、東洋インキ製造㈱の武田一孝カスタマーネットワーク本部マーケティング部部長が「色覚ユニバーサルデザイン技術」を紹介。最後に、大村中部ブロック会長が「メディアユニバーサルデザイン・コンペティション」への参加を呼びかけ、セミナーを終了した。

「2007 <第1回>メディアユニバーサルデザインコンペティション」
作品募集
「印刷・電子メディア・その他メディア」3部門
募集締切り日 / 8月20日（月）

募集要項

- <主催> 全日本印刷工業組合連合会
- <主管> 全国青年印刷人協議会
- <名称> 2007（第1回）メディアユニバーサルデザインコンペティション
- <募集部門> 印刷（グラフィック）メディアの部 / カレンダー、ダイアリー、カタログ、ポスター、パンフレット、路線図、案内図、報告書、パッケージ、書籍、ダイレクトメールなど、電子メディアの部 / ホームページ、電子書籍、電子カタログCD、DVD など、その他メディアの部 / 観光案内板、配置図、フロアガイド、サイン、POP、ステッカー、ネームプレート、サインディスプレイなど。
- <授与賞> 最優秀賞（グランプリ）1点（賞状、賞金30万円、副賞）、優秀賞（純グランプリ）〔一般の部〕1点×3部門（賞状、賞金10万円、副賞）〔学生の部〕1点×3部門（賞状、iMac）その他各賞 / 若干。
- <審査基準> 見やすさ、カラーマネージメントレベル、機能性、実用性（工夫）、デザイン性、新規性などの審査項目と審査基準により審査。
- <審査日> 第一次審査会 / 平成19年8月23日（木）、第二次審査会 / 平成19年8月24日（金）
- <審査結果発表> 平成19年8月27日（月）

- <表彰式> 日時：平成19年9月22日（土） / 会場：IGAS会場発表：業界紙、デザイン誌など。
- <作品展示> 日時：平成19年9月21日（金）～27日（木） / 会場 / IGAS会場内展示ブース。
- 応募要項
- <応募資格> 学生の部 / 高校・大学・専門学校の学生に限る。一般の部 / 印刷会社・企画制作会社・デザインハウスなど、特に制限はなし。
- <応募対象作品> 平成19年1月以降に制作されたもの。過去に他のコンクール、コンペティションなどに応募した作品は対象外とする。
- <応募方法> 印刷（グラフィック）メディアの部 / 作品一点と予備一点（印刷物または出力紙）とデータ一点（CD-Rにjpeg形式で保存したもの）を所定の出品申込書を添えて提出。電子メディアの部 / データ一点（CD-Rにjpeg形式で保存したもの）を所定の出品申込書を添えて提出。・その他のメディアの部 / 作品の写真（画像データでも可）とデータ一点（CD-Rにjpeg形式で保存したもの）を所定の出品申込書を添えて提出。
- <出品料> 応募作品1点につき、一般3,000円、学生2,000円。
- <応募期限> 平成19年5月7日より平成19年8月20日必着。
- <申込先> 104-0041東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館、全日本印刷工業組合連合会「MUDコンペティション」係 TEL03-3552-4571 FAX03-3552-7727

OLIVER496SD

大型多色SDシリーズ 第一弾

菊全判4色
印刷機

オールインワン
最新自動化設備 完全装備

最高の製品を届けることで、お客様の満足をお約束します

株式会社 桜井グラフィックシステムズ
http://www.sakurai-gs.co.jp

本社 〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9
TEL.(03)3643-1131(代) FAX.(03)3643-1138

名古屋営業所 〒451-0084 名古屋市中区上郷越町2-9-1
TEL.(052)524-5541(代) FAX.(052)524-5545

大阪営業所 〒532-0012 大阪府淀川区木川東3-1-31
TEL.(06)6308-6651(代) FAX.(06)6308-6679

九州営業所 〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL.(092)741-2672(代) FAX.(092)741-2670

岐阜工場 〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)33-1260(代) FAX.(0575)33-3146

紙をクリエイティブにする

Kamix®

紙のことなら何でも
ご相談ください。

最新の価値ある情報を
常に提供いたします。

O.K. 大河内紙業株式会社

本社 名古屋市中区栄一丁目25-35 TEL.052-220-5511 FAX.052-220-5522

東京営業所 東京都中央区日本橋本石町4-5-3 TEL.03-3242-5561
物流センター 愛知県小牧市下小針中島1-78 TEL.0568-41-5581

U.R.L. http://www.kamix.co.jp / E-mail: info@kamix.co.jp



榎橋 泰仁氏
榎キングコーポレーション

「地下鉄動画広告
メディアでCM
コンテンツを放映」

地下鉄駅構内の広告に映像広告用プロジェクターを利用した動画広告の設置が増えている。紙製品の総合サプライヤーを標榜する榎キングコーポレーションも動画広告を設置した。

榎橋社長は「自社の宣伝、イメージアップという狙いもありますが、この動画広告を見た人が、封筒や名刺の効果、メリットを再認識してくれることにより、間接的に紙製品の利用拡大に結び付いていきます。ひいては、封筒や名刺の需要が増え、印刷業界全体に効果をもたらします」と期待を寄せる。

第1弾では「封筒」を、第2弾では「名刺」を採り上げ放映。テーマは、「名刺が自分の顔になる」。

「映像広告用の100インチディスプレイを利用していますので、地下鉄を待つ間、目には動画、耳には音声が入ってきますので、波及効果は高いものがあります。地下鉄をご利用される際は、是非ご覧になってください」と、榎橋社長は薦める。

設置されている場所は、東山線：名古屋、伏見、栄、本山、名城線：久屋大通、栄、上前津、金山の各駅。



山田 慎二氏
榎二和印刷紙業

名古屋而立会
50周年記念事業
「承継」をテーマに!

はそう痛感しています」との認識を示すと共に、今回の50周年記念事業について「仲間がいて良かった、仲間と一緒に何かできて嬉しい、と思う会員の姿が皆様にも伝わるよう、会員全員が一致団結して取り組みたいと思います」と抱負を語る。

“受け継ぎたい道がある、受け継がねばならぬ心がある”を掲げた記念事業テーマは「承継」。

「できる限り多くの方々との交流を深めたいと思いますので、是非ご参加ください」と山田実行委員長。



小森 善治氏
(社)日本印刷産業
機械工業会会長

創立70周年記念式典
「新たな挑戦へ船出」

創立70周年を迎えた(社)日本印刷産業機械工業会。その記念式典・祝賀会が東京虎ノ門パストラルホテルにおいて開催された。

「設立当初は東京を中心とした印刷製本機械メーカーの小さな集まりであった。以後、紆余曲折を経ながら今日までの発展をみた」としながら、「バブル崩壊後、生産高が大幅に減少し、大変厳しい状況が続いたが、70周年を迎えることができた。ひとえに会員企業のたゆまぬ努力のおかげである」と、小森会長は振り返る。

ちなみに、平成18年の生産高は前年比9.3%増の4,200億円まで回復している。これは、海外への輸出が大きく伸びたことに起因している。

今後の展開については「業界を取り巻く環境は、幾多の諸問題が山積みしている。これらの解決には、構造改革の加速・拡大が不可避であることを理解し、新たな課題への速やかな対応を図ることが必要である。これにより、工業会の更なる発展が実現できると確信している」と、新たな船出を強調した。(創立70周年記念式典で)

～雇用保険被保険者の皆さんへ～ 雇用保険法が変わります

雇用保険の受給資格要件が変わります。

これまでの週所定労働時間による被保険者区分(短時間労働者以外の一般被保険者/短時間被保険者)をなくし、雇用保険の基本手当の受給資格要件を一本化します。原則として、平成19年10月1日以降に離職された方が対象となります。

- 【旧】・短時間労働者以外の一般被保険者
6か月(各月14日以上)
- ・短時間労働被保険者(週所定労働時間20～30時間)
12か月(各月11日以上)

【新】雇用保険の基本手当を受給するためには、週所定労働時間の長短にかかわらず、原則、12か月(各月11日以上)の被保険者期間が必要。

倒産・解雇等により離職された方は、6か月(各月11日以上)が必要。

育児休業給付の給付率が50%に上がります。

給付率を休業前賃金の40%から50%に引き上げます。平成19年4月1日以降に職場復帰された方から平成22年3月31日までに育児休暇を開始された方までが対象となります。

- 【旧】休業期間中30% + 職場復帰後6か月10%。
 - 【新】休業期間中30% + 職場復帰後6か月20%。
- 育児休業給付の支給を受けた期間は、基本手当の算定基礎期間から除外されます。(平成19年10月1日以降に育児休業を開始された方に適用)。
教育訓練給付の要件・内容が変わります。
本来は「3年以上」の被保険者期間が必要である

受給要件を、当分の間、初回に限り「1年以上」に緩和します。また、これまで被保険者期間によって異なっていた給付率及び上限額を一本化します。

いずれの措置も、平成19年10月1日以降に指定講座の受講を開始された方が対象となります。

【旧】被保険者期間3年以上5年未満/20%(上限10万円)、被保険者期間5年以上/40%(上限20万円)

【新】被保険者期間3年以上/20%(上限10万円)。ただし、初回に限り、被保険者期間1年以上で自給可能。

詳しくは、都道府県労働局職業安定部または公共職業安定所(ハローワーク)にお尋ねください。

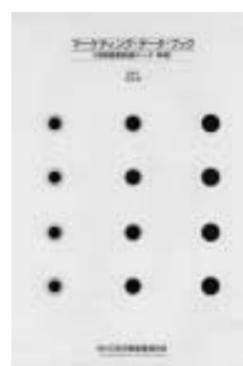
(社)日本印刷産業連合会
「マーケティングデータブック2007」発行

日印産連より「マーケティングデータブック2007(印刷産業関連データ年報)」が発行された。

本書は、「印刷産業」「篤志先」「資機材」「得意先」の項目からなり、それぞれ最新のデータがまとめられている。

「印刷産業」編では、平成16年工業統計から産業編・品目編・都道府県別、さらに、生産動向調査(印刷業生産金額概況、印刷業計、出版・商業・事務用・包装・証券など)、その他(ISO認定組織、プライバシーマーク認定組織、グリーンプリンティング認定工場など)が詳報されている。

定価5,000円で販売。申し込みはホームページ<http://jfpj.or.jp/data/>で。



高機能化された東洋インキの製品群
きっと大きな利益を約束します。

見極めろ！目が大切です。

イメージングインターフェイス
I&I 東洋インキ

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 TEL:03-5561-1111
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 TEL:03-5561-1111

SCREEN MEDIA TECHNOLOGY **ここが違います。大日本スクリーンの CTP Workflow**

1 PDF1.4対応をはじめとする最新のコアテクノロジーでCTPをサポートするインテリジェントRIP

ネットワークプロダクション対応
インテリジェントRIP
Trueflow

2 目的別に選択できるPlateRiteシリーズ

四六半裁判対応
サーマルプレートレコーダー
PlateRite4300

四六全判対応
サーマルプレートレコーダー
PlateRite8600

株式会社 メディアテクノロジー ジャパン
本店 / 〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル <http://www.mtjn.co.jp/>
名古屋支店 / 〒460-0003 名古屋市中区錦2-14-21 円山ニッセイビル 052(218)6400

大日本スクリーン製造株式会社
メディアテクノロジーカンパニー <http://www.screen.co.jp/>
〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目

ユニバーサル技能五輪国際大会 「印刷」が正式競技に加わる

「第39回技能五輪国際大会」と「第7回国際アピリンピック」が、大会史上初めて「2007年ユニバーサル技能五輪国際大会」として、11月14日～21日までの8日間、静岡県で開催される。大会には、世界60以上の国・地域から選手、役員、審査員など、3000人が参加する。技能五輪国際大会は1985年以来22年ぶり、国際アピリンピックは1981年以来26年ぶりの開催になる。開会式は合同で行われ、大会の入場料は無料、自由に観覧できる。来場者は20万人が見込まれている。技能五輪国際大会で初めて選手村が設けられるほか、ユニバーサルデザインにより大会が運営される。

* *

2年ごとに開催される「ユニバーサル技能五輪国際大会」は、参加国の職業訓練の振興、技能水準の向上、青年技能労働者の交流を目的とした大会で、22歳以下の若者が各国1職種につき1名が出場できる。今回「印刷」が正式競技に加わり、技能が競われるが、印刷のほかに、グラフィックデザイン、Web デザイン、広告美術、家具、建築大工、電子機器組立、洋裁、造園、レストランサービスなど38職種がある。

「印刷」の競技は、11月15日から18日まで沼津会場で行われる。日本の代表選手には、国内選考委員会の結果、凸版印刷㈱生産技術

研究本部鈴木康弘氏が選ばれた。

競技は、ポスター・カタログ・チラシ・パンフレット・絵はがきなどの商業印刷物の制作能力を競う。枚葉4色オフ機を使い、印刷用紙3種にプロセスカラーインキで、課題の印刷を行い印刷品質及び印刷時間を競う。

課題は、片面4色カラー印刷、表面4色カラー印刷+裏面1色の両面印刷、表面4色カラー印刷+裏面4色カラー同一絵柄の両面印刷などを行う。1日目は家具カタログ、2日目は絵はがき、3日目は家具カタログ両面同一絵柄の印刷を行う。

競技では、指定された原稿（印刷物）をオフセット枚葉印刷機で同じ印刷物を印刷するために事前設計し、支給された印刷版を印刷機に版付けし、インキをへらでセットし、紙をフィーダーに手で挿入、デリバリーの用紙幅などを設定し、印刷機を運転し時間内に規定の枚数を印刷できる技能、印刷機を操作し、原稿と同じ品質の絵柄の見本合わせやインキの濃度調整で色調子合わせ。また、紙の種類による収縮や乾燥後の濃度ダウンなどの品質変動を予測・事前設計できる技能、印刷後、支給の濃度計を使用し、濃度偏差、ドットゲイン（網点の大小変動）を測定しグラフ化することで、作品の印刷物と原稿との変動を数値化で比較し、品質チェックできる能力、が求められる。



ユニバーサル技能五輪ポスター

「IGAS2007」開幕迫る

印刷機材団体協議会（小森善治会長）が主催する4年に1度のビッグイベント、国際印刷機材展「IGAS2007」の開催概要が発表された。今回のテーマは「プリントメディアの未来 - 信頼と進化」。

会期は9月21日(金)～27日(木)の7日間。会場は、東京・有明の東京ビッグサイト東西全館。出品者数は、539社、4,857小間（6月11日現在）。前回規模より約100社、小間数で約40小間上回った。来場者は、全体で12万5千人、海外来場者は、60の国から1万2千人を見込んでいる。

主催者特別企画として、急速に発展するアジアのマーケットに焦点を当て、各国を代表する大学・研究期間による「国際印刷シンポジウム」、日本国内の大学や研究期間などから最先端の研究内容を展示・紹介する「先進技術展示」、最新技術を進歩させ、デジタル映像技術を活用した「VRシアター」、歴史的な印刷資料を有する「ミズノプリンティングミュージアム」の展示などある。

事務局だより

梅雨の時期になり鬱々とした日が続いております。気温の変動も激しく、体調管理に気を使わなければなりません。といているうちにまた暑い夏が来ます。暑さもこたえますが、四季の移り変わりです。じきに秋が来て冬が来ます。今年も半分が過ぎてしまいました。

「あいちの印刷」

No.428

平成19年7月10日発行

発行人 白井 紘一

編集 組織・共済委員会

発行所 愛知県印刷工業組合

〒461-0001

名古屋市東区泉一丁目20番12号

TEL 052 962-5771 (代表)

FAX 052 951-0569

ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

E-mail アドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp